

# Market Watching

発表日: 2021年2月15日(月)

## 高まる経済正常化期待とインフレ懸念(マーケットウィークリー)

～中央銀行の見解に市場の注目が集まる～

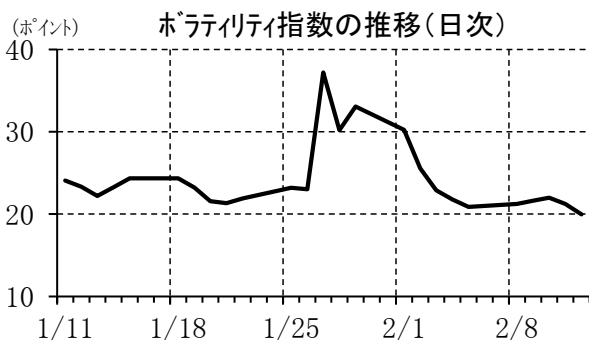
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

### 【先週の市場動向】

#### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
2月8日(月)	日本: 国際収支統計(12月)・経常収支	+11,656	+11,054	+18,784	億円、原数値
	日本: 景気ウォッチャー調査(1月)・先行き判断DI	39.9	35.0	37.1	
2月9日(火)	日本: 毎月勤労統計(12月)・現金給与総額	▲3.2%	▲4.7%	▲2.2%	前年比
2月10日(水)	中国: 消費者物価指数(1月)	▲0.3%	▲0.1%	+0.2%	前年比
	米国: 消費者物価指数(1月)・総合	+1.4%	+1.5%	+1.4%	前年比
	米国: 消費者物価指数(1月)・コア	+1.4%	+1.5%	+1.6%	前年比
2月11日(木)	フィリピン: 金融政策決定会合	2.00%	2.00%	2.00%	翌日物リバースルホ <sup>®</sup> 金利
	米国: 新規失業保険申請件数(2/6終了週)	793	760	779	千件
	メキシコ: 金融政策決定会合	4.00%	4.00%	4.25%	銀行翌日物金利
2月12日(金)	英国: 実質GDP速報値(10-12月期)	+1.0%	+0.5%	+16.0%	前期比
	英国: 鉱工業生産(12月)	+0.2%	+0.6%	▲0.1%	前月比
	米国: ミシガン大学消費者信頼感指数(2月速報値)	76.2	80.8	79.0	ポイント
2月13日(土)	—				
2月14日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目は筆者。



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.208	+4.5	+7.9	▲42.5	1.106	0.974	0.794
日本	0.065	+1.0	+3.5	+10.5	0.045	0.027	0.021
ドイツ	-0.428	+2.0	+4.0	▲5.0	-0.498	-0.546	-0.504
豪州	1.220	+2.6	+7.2	+15.8	1.141	1.008	0.929
株価							
NYダウ	31458.40	+1.0	+1.3	+6.5	30950	30184	28125
日経平均	29520.07	+2.6	+4.8	+23.7	28656	27037	24323
ユーロSTOXX50	3695.61	+1.1	+2.3	▲4.1	3609	3523	3335
上海総合	3655.09	+4.5	+1.3	+24.9	3570	3452	3290
為替相場							
ドル/円	104.94	▲0.4	+1.1	▲4.7	104.33	104.10	105.52
ユーロ/円	127.16	+0.2	+0.4	+6.2	126.35	125.60	123.83
豪ドル/円	81.44	+0.6	+1.0	+9.8	80.35	78.45	76.18
ユーロ/ドル	1.212	+0.6	▲0.7	+11.5	1.211	1.207	1.174
商品市況							
WTI	59.47	+4.6	+11.8	+16.2	54.43	48.23	42.57
金	1821.6	+0.6	▲1.2	+16.2	1840	1858	1858

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (2/8~2/12) の金融市場は、世界的に新型コロナウイルスの感染者が減少傾向を辿る中、先行きの景気の本格的な回復に対する期待や、インフレ上昇の可能性に対する関心から、株価が上昇する一方で金利も上昇した。週内に発表された米CPIは予想の範囲以下にとどまったものの、バイデン政権が目指す景気対策によって、先々は物価上昇圧力が高まるとの懸念は払拭されなかった。

今週のマーケットは、米国で主要月次指標の発表が続くほか、欧州では企業の景況感指数の発表もあり、足元の経済状況を示す材料が相次いで発表される。米国では、昨年末に実現した追加景気対策による個人向け給付金効果もあり、1月の小売売上高は4ヶ月ぶりに前月水準を上回ることが期待されている。ユーロ圏のPMIは、域内での感染者が減少傾向を辿り始めていることもあり、企業景況感の改善が期待される。感染の鈍化や景気対策を背景に、強めの経済指標の発表が続けば、市場の楽観的な見方を後押しすることとなろう。一方で、ワクチン接種率の上昇も相まった経済正常化への期待の高まりにより、大きすぎる景気対策はインフレ懸念を高める。昨年は、4月から5月にかけて物価が下落したが、今年はその“ウラ”が出る形で、前年対比で見た物価上昇率は嵩上げされる。原油をはじめ、各種商品市況も上昇基調を強めており、インフレに対する市場の注目は、年央にかけて一層高まってこよう。これによって金利の上昇が早まれば、株式市場にも影響を及ぼす。あらためて、中央銀行の考え方にも注目が集まろう。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
2月15日(月)	日本：実質GDP（10-12月・一次速報）	★★★	+10.1%	+22.9%	前期比年率
	ユーロ：鉱工業生産（12月）	★	▲0.5%	+2.5%	前月比
2月16日(火)	ドイツ：ZEW景況感調査（2月）・期待指数	★	+59.5	+61.8	ポイント
	ユーロ：実質GDP速報値（10-12月期）二次速報値	★	▲0.7%	▲0.7%	前期比
	米国：NY連銀製造業景気指数（2月）	★★★	+5.0	+4.0	ポイント
2月17日(水)	日本：機械受注統計（12月）・船電除く民需	★★	▲3.0%	▲11.3%	前年比
	日本：貿易統計（1月）・輸出	★★★	+6.6%	+2.0%	前年比
	・輸入	★	▲5.5%	▲11.6%	前年比
	・貿易収支	★	▲6,250	+7,496	億円
	米国：小売売上高（1月）・全体	★★★	+0.8%	▲0.7%	前月比
	・除自動車	★★★	+0.8%	▲1.4%	前月比
	米国：鉱工業生産指数（1月）	★	+0.4%	+1.6%	前月比
米国：企業在庫（12月）		+0.5%	+0.5%	前年比	
2月18日(木)	トルコ：金融政策委員会	★	17.00%	17.00%	1週間物レボ金利
	米国：新規失業保険申請件数（2/13終了週）	★★★	773	793	千件
	米国：住宅着工件数（1月）	★★	165.0	166.9	万件
	米国：フィラデルフィア連銀製造業景況感指数（2月）	★★★	+19.0	+26.5	ポイント
2月19日(金)	日本：全国消費者物価指数（1月）・総合		▲1.7%	▲1.2%	前年比
	・除生鮮食品	★	▲0.6%	▲1.0%	前年比
	日本：PMI製造業景気指数（2月）		—	49.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数（2月）		—	46.1	ポイント
	英国：小売売上高（1月）・除自動車燃料	★	▲2.1%	+0.4%	前月比
	ユーロ：PMI製造業景気指数（2月）	★★★	54.3	54.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数（2月）	★★★	45.8	45.4	ポイント
	米国：PMI製造業景気指数（2月）	★	58.5	59.2	ポイント
	PMIサービス業景気指数（2月）	★	58.0	58.3	ポイント
	米国：中古住宅販売件数（1月）	★	656	676	万件
2月20日(土)	—				
2月21日(日)	—				

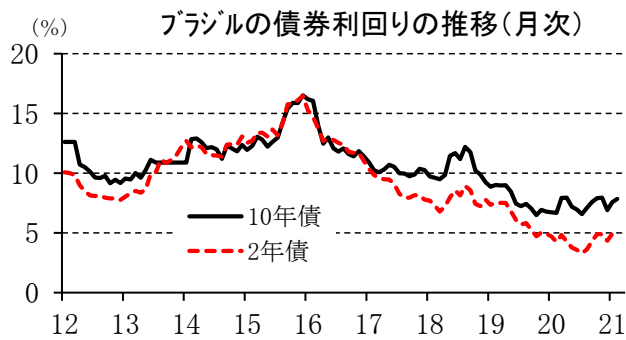
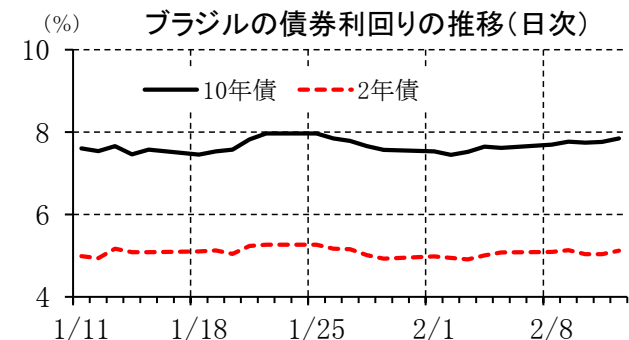
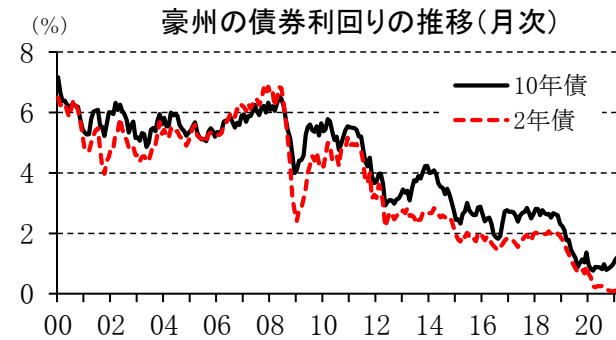
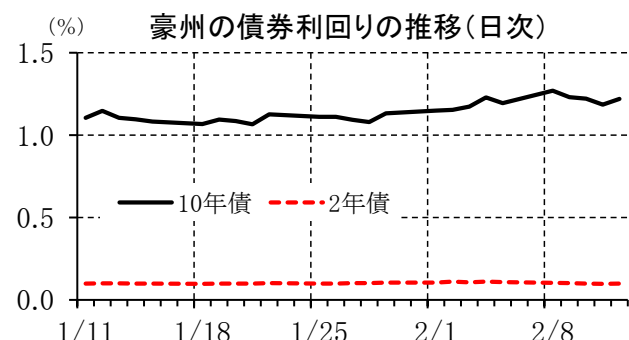
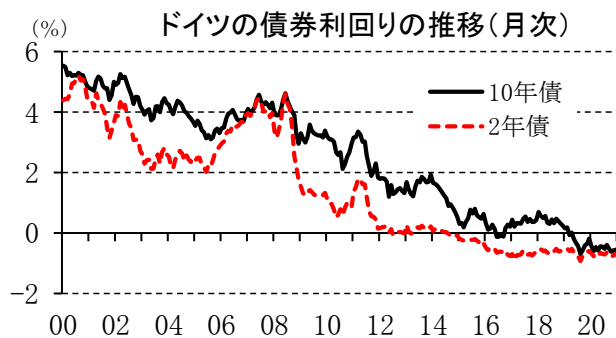
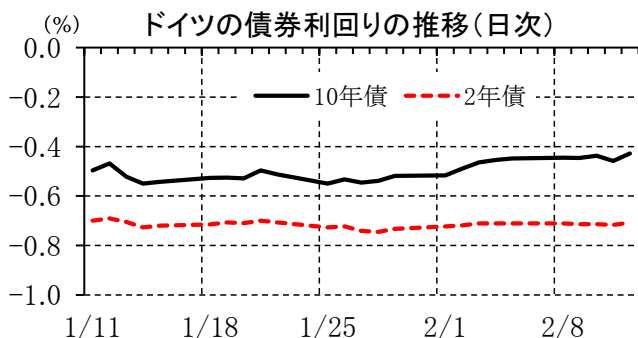
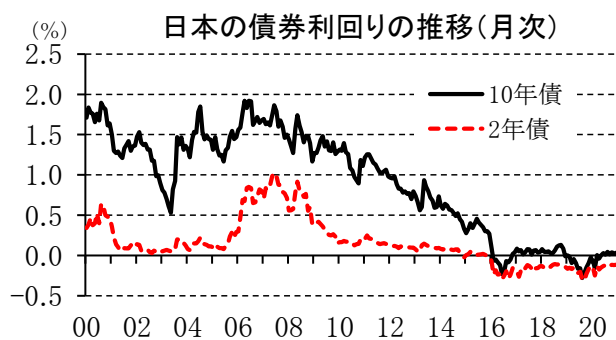
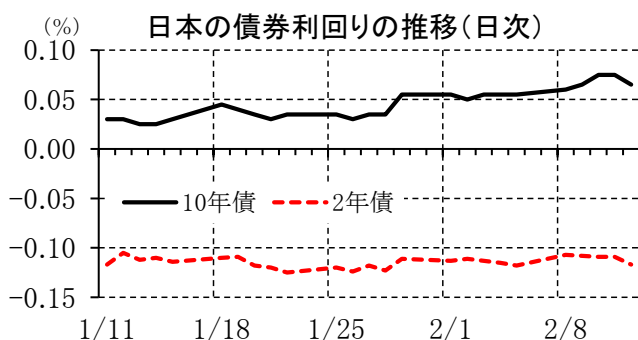
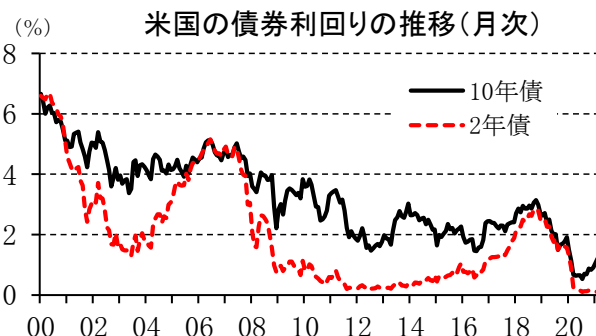
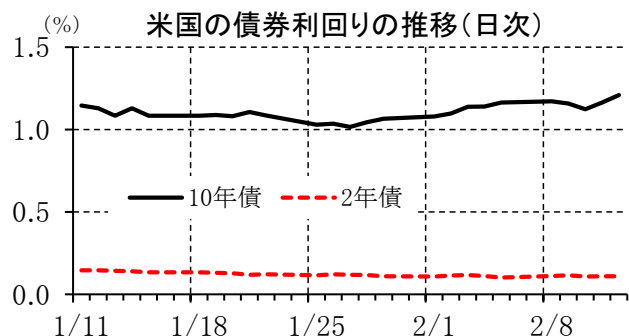
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

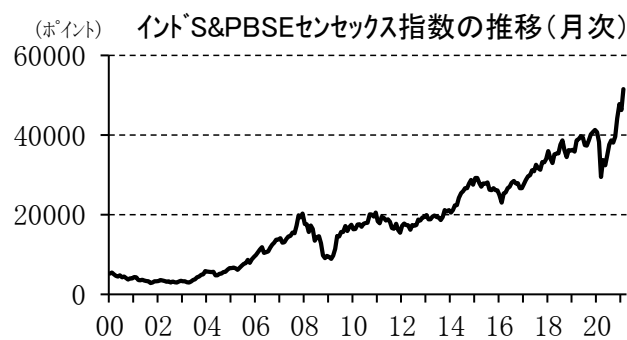
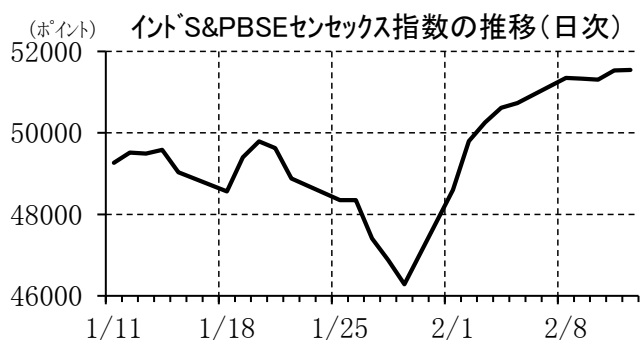
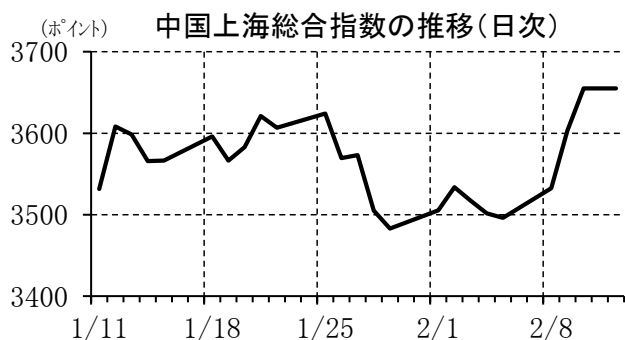
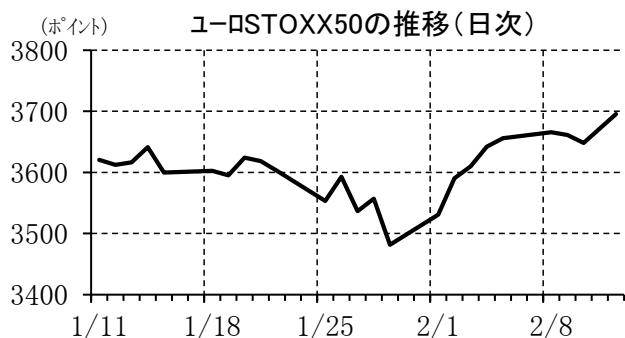
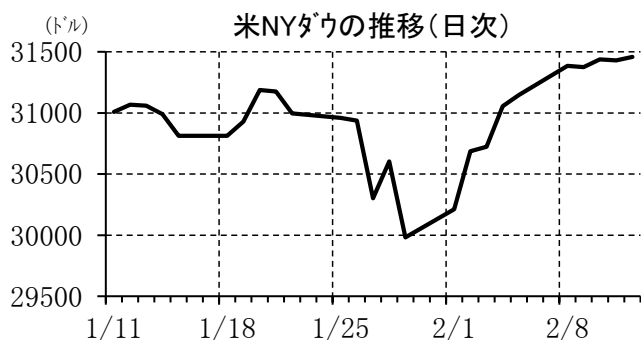
発表日	イベント	注目度	備考
2月15日(月)	米国：祝日		
2月16日(火)	—		
2月17日(水)	英国：ラムステーンBOE副総裁講演	★	
	米国：FOMC議事録（1月分）	★★★	
2月18日(木)	中国：春節明け		
	ユーロ：シュナーベルECB理事講演	★	
2月19日(金)	—		
2月20日(土)	—		
2月21日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

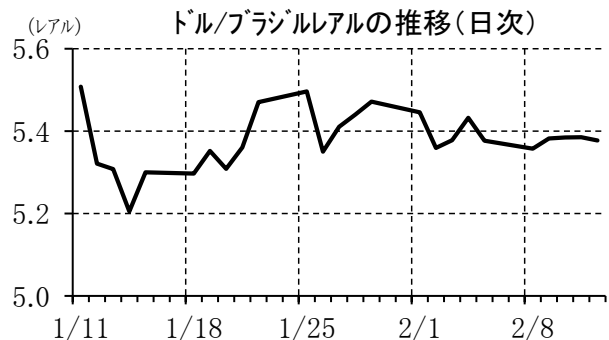
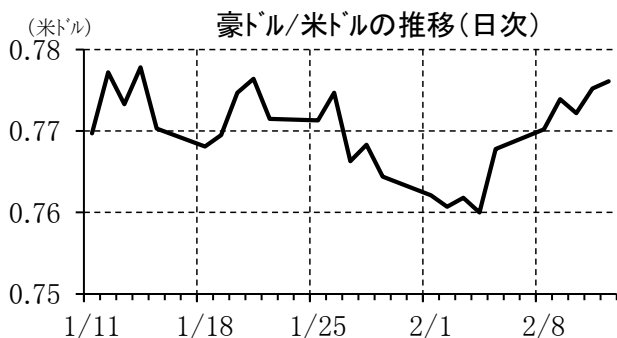
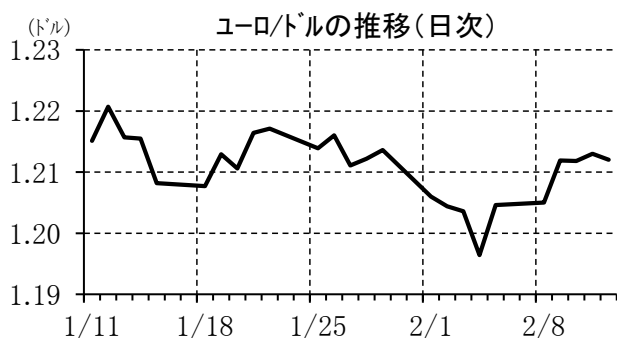
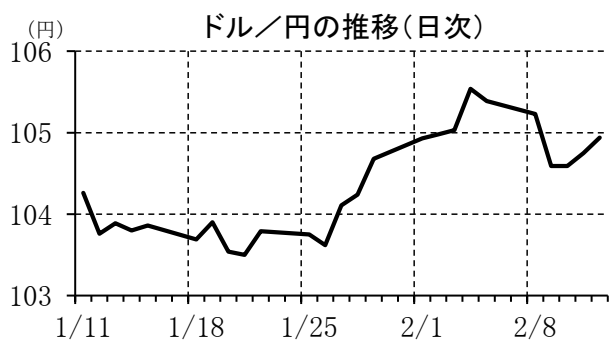
## 【債券利回り】



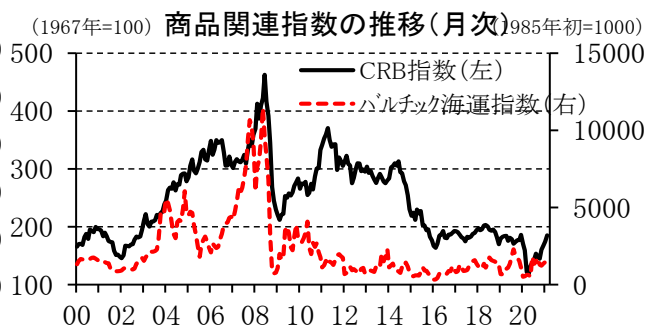
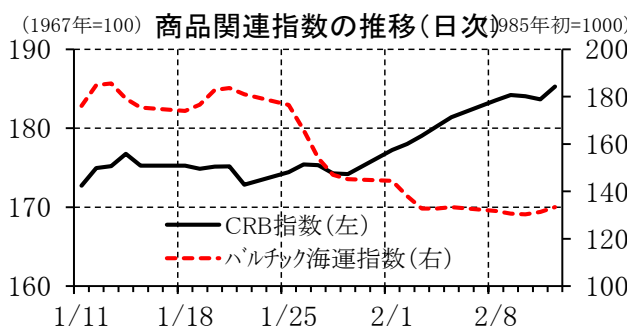
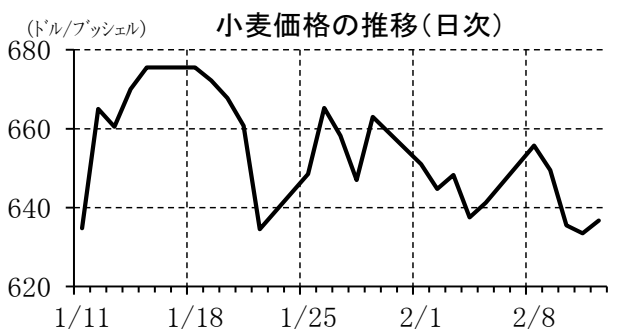
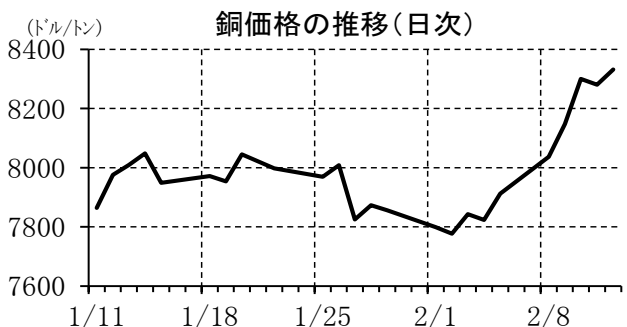
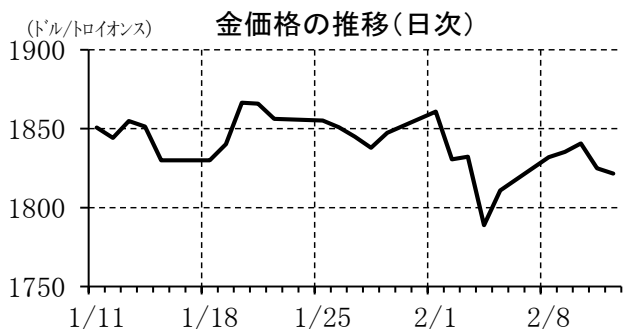
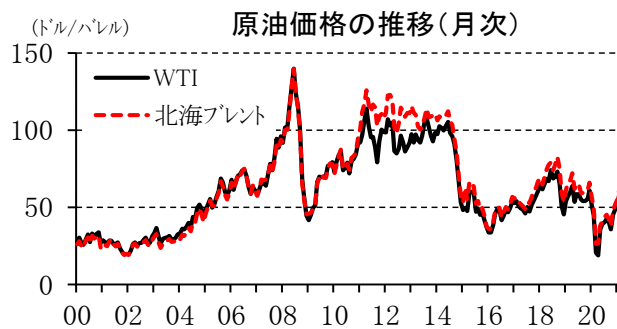
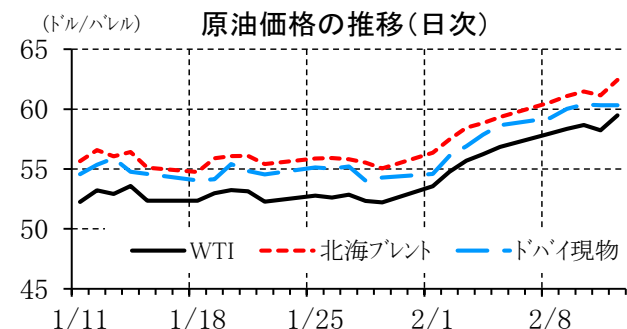
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

